

登録No.  
登録名  
催吐性リスク  
適応疾患  
投与スケジュール

S-118  
dose-dense EC療法  
高度  
乳癌

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	パロセチン0.75mgパック デキサメタゾン ホスネツピタント	50mL/body 9.9mg/body 235mg/body		d1	d.i.v.	30min	輸液総量の1.8倍量をDrip-eyelに設定 ペグフィルグラスチム併用
Rp.2	エピルピシン 生食	90mg/m <sup>2</sup> 50mL/body		d1	d.i.v.	全開	131mg以上の場合は生食100mL
Rp.3	生食	100mL/body		d1	d.i.v.	全開	エピルピシン・シクロホスファミド 前後フラッシュ用
Rp.4	シクロホスファミド 生食	600mg/m <sup>2</sup> 250mL/body		d1	d.i.v.	60min	
Rp.5	ジーラスタ皮下注 ボディーポッド	3.6mg/body		d1	s.c.		
Rp.6	生食注シリンジ	1筒/body		d1	s.c.		

1クールの間  
標準クール数  
最大クール数  
休薬期間の規定  
投与間隔短縮の規定  
その他（副作用・PS規定等）

2週間  
4クール

PS：0-1

副作用：骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、口内炎、味覚異常、下痢・便秘、脱毛、倦怠感、心機能障害など  
・心毒性あり。エピルピシンの総投与量は900mg/m<sup>2</sup>まで。  
・他のアントラサイクリン投薬歴のある場合はエピルピシンの総投与量650mg/m<sup>2</sup>までOKだが、限界投与されている場合は禁忌。

※ペグフィルグラスチム併用（EC療法施行、24時間以降72時間以内）

更新：2024.4.16 制吐薬適正使用ガイドライン改訂に伴い制吐剤変更  
2026.2.19ペグフィルグラスチムBSからジーラスタ皮下注3.6mgボディーポッドへ変更。